

(69)

氏名(生年月日)	ナリ 成	マツ 松	アキ 明	コ 子
本籍				
学位の種類	医学博士			
学位授与の番号	乙第603号			
学位授与の日付	昭和58年3月18日			
学位授与の要件	学位規則第5条第2項該当(博士の学位論文提出者)			
学位論文題目	傍大動脈弓部に結節様陰影を呈する静脈 CT 像 ——傍大動脈リンパ節との鑑別について——			
論文審査委員	(主査) 教授 田崎 英生 (副査) 教授 織畑 秀夫, 教授 石津 澄子			

論文内容の要旨

研究目的

Computed Tomography (CT) は縦隔リンパ節、特に傍大動脈リンパ節と分岐部下リンパ節腫大の診断にも有効な検査法である。しかし、傍大動脈弓部に結節様陰影を作り、同部リンパ節の軽度腫大、あるいは正常像と鑑別すべき静脈として左上肋間静脈、左上大静脈遺残、垂直静脈および、いわゆる V¹⁺² superior などが存在することはあまり知られていない。本論文では、CT 像のそれ等の鑑別の可能性の有無について検討した。

研究対象および方法

第2世代および第3世代の CT 機器を用いて種々の疾患の縦隔 CT633例(第2世代を用いた CT526例、第3世代の CT107例)を対象とした。

使用した CT は、EMI5005, Pfyzer200FS, 日立 CT-W 3, 東芝60A で、スライス幅は各々13mm, 13mm, 10mm, 10mm, スキャン時間は20秒, 19秒, 4.5秒, 4.5秒である。水溶性ヨード剤を使用した造影 CT は、急速点滴静注法やボラス注入法を用いたが、第3世代の CT では全例にボラス注入を行なった。

研究結果および考察

縦隔 CT633例中55例(8.7%)に静脈とリンパ節との鑑別を要する小さな結節様陰影がみられた。第2世代の CT を用いた症例では526例中23例(4.4%)であったが、第3世代を用いた症例では107例中32例(29.9%)と高頻度に認められた。

第2世代 CT を結節様陰影の形および個数により、

I型から、III型に分類した。I型(短い線状あるいは円弧状を呈したものが4例、II型(単一の結節陰影を示すもので楕円形をIIa、円形をIIbとする)が16例、III型(2個以上の結節陰影を呈したものが3例であった。このうち5例(I型4例、IIb型1例)が上大静脈症候群を呈しており、上大静脈造影を行って左上肋間静脈であることを確認した。左上大静脈遺残の1例は、IIa型を示したが、その走行からリンパ節との鑑別は容易であった。

第3世代を用いた症例32例では傍大動脈弓部の結節様陰影の位置によりA型からC型に分類した。A型(大動脈弓部の前1/3に位置するもの)が7例、B型(中央1/3に位置するもの)が8例、C型(後1/3に位置するもの)が11例であった。2個以上の結節様陰影を呈したものはD型とし、6例がこれに相当した。このうち12例(B型8例、C型4例)が、いわゆる V¹⁺² superior であり、これは縦隔側の胸膜直下を上行し、傍大動脈弓部では後上方への走行を示すことから、縦隔内のリンパ節あるいは静脈との鑑別は可能であった。C型を示した残りの7例は、造影 CT で造影効果が認められ左上肋間静脈といえる。

以上のことから、左上肋間静脈は、I型の短い線状あるいは円弧状を呈し、同一スライスで1個以上の陰影を作らないこと、また、II型の単一の小結節陰影を呈した場合は、C型の傍大動脈弓部の後1/3に位置することが鑑別の要点と思われる。II型の単一の小結節陰影を呈し、その位置が傍大動脈弓部の前2/3にみられる

場合は、現段階では造影効果が必ずしも有効でないことから、静脈とリンパ節との鑑別は不可能であると考
 えるべきである。

結語

CTで、傍大動脈弓部に結節様陰影を作り得る静脈

として左上肋間静脈、左上大静脈遺残、垂直静脈および、いわゆる V¹⁺² superior が存在することを明らかにし、同部に存在する正常あるいは軽度腫大した傍大動脈リンパ節と、それ等との鑑別点を明確にした。

論文審査の要旨

本論文は、CTで傍大動脈弓部に結節様陰影を作り得る静脈として左上肋間静脈、左上大静脈遺残、垂直静脈およびいわゆる V¹⁺² superior が存在することを明らかにした。さらに、同部に存在する正常あるいは軽度腫大した傍大動脈リンパ節と、それ等との鑑別点を明確にした研究であり、臨床医学上価値ある論文と認める。

主論文公表誌

傍大動脈弓部に結節様陰影を呈する静脈 CT 像
 —傍大動脈リンパ節との鑑別について—

東京女子医科大学雑誌 第53巻 第2号
 184～192頁（昭和58年2月25日発行）

副論文公表誌

- 1) 胸部、腹部の CT. 胸部（心，肺，縦隔）.
 小児内科 11（6）855～859（昭54）
- 2) 傍大動脈弓部の静脈 CT 像—大動脈弓リンパ節

との鑑別をめぐって—.

臨放線 26（10）1003～1008（昭56）

- 3) 縦隔腫瘍の画像診断.

内科 49（2）267～274（昭57）

- 4) 脳梁欠損症と肺性心を合併し、呼吸不全にて死亡した漏斗胸幼児例の1例.

日胸疾患会誌 20（9）1020～1025（昭57）

- 5) 縦隔の CT.

呼吸 1（1）48～57（昭57.9.）